

インタラクティブ大学院教育 国内短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 青島研究室 M1 油木 亮祐

留学先：第5回高分子ナノテクノロジー研究会

留学日：2007年2月22日（木）

私は2007年2月22日、インタラクティブ大学院教育の一環である大学院国内短期留学プログラムにより、東京ビックサイトで行なわれた高分子ナノテクノロジー研究会に参加させていただきました。

この研究会は、ナノテクノロジーの分野で開けつつある高分子の新しい可能性について展望することを目的とし、3年前から開催されているそうです。今回は『高分子ナノ構造体の物性とその利用』というテーマで開催され、高分子ナノ構造により発現する特徴的な物性を利用して実用化の研究をされている最先端の研究者のお話を聞くことが出来ました。聞く話のいずれもが面白く、新鮮であり、貴重な研究会に参加することが出来たと思っています。

また、この研究会は『nano tech』の開催に併せて行なわれていることもあり、午前、研究会にて最新の研究・開発・実用化例を聞いた後、午後は『nano tech 2007』の展示会で実際にナノ技術による製品を数多く見てきました。『nano tech 2007』では数百という企業が広いワンフロアに集まり、各々のブースで自社の技術を披露しており、ナノテクノロジーの最前線を肌で体感することが出来ました。

日頃、研究室では基礎研究を行なうことが多く、開発・実用化されている例に触れる機会はほとんどありませんでした。実際に製品を、自分の目で見ることで、様々な技術を用いて作られている製品に感動し、また、そのような実用化例を見ることで逆に基礎研究の大切さを改めて感じました。基礎研究の位置づけを再確認するという意味で良い機会となり、とても有意義な時間であったと感じます。今後、このようなプログラムにより私のように貴重な体験をされる方が増えることを願うばかりです。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった方々、インタラクティブプログラムに心より感謝いたします。